



40万署名で国会に請願

難病患者らの医療、生活保障を

JPC結成後はじめての国会請願が二月十七日に行われました。この国会請願は結成総会で決めた方針にそって行ったもので、昨年八月以来、全国の加盟団体会員らによつて雨中、雪中の街頭署名行動も含む多くの困難の中でこの

者さんらの実態はよく理解している。要望が実現するよう頑張りた

い」などと挨拶しました。

またJPCを代表して挨拶した長代表幹事は、「請願運動は署名運動を通じて請願内容を訴える機会となり、その要望を実現するために国民の支持を受けなければならぬ。会員の三倍を超える署名を集めた意義は大きい」と述べ、参加者からは、特定疾患対策のしめつけられていること、エイズ問題で血友病患者の人権が侵害されるおそれがあること、国立病院統合による「拡充」は実態をともなっていないこと、患者の重度化、長期化は深刻であること、原因究明のための予算増額は急務であることなどが訴えられました。

日までに集められた署名は四十万八百九十二名分(当日発表の三十四万名は追加、報告もれなどによりこの数字が最終結果。団体別集計結果は募金額とともに次号で報告)。①難病の原因究明、治療法確立②各種医療費公費負担制度の拡充③身体障害者福祉法の抜本改正④在宅患者の医療、介護、生活保障⑤医療保険制度の給付率の引き上げ⑥国立医療機関の機能拡充、廃止、移譲計画の中止⑦補助金の削減の中止⑧身体障害者雇用促進法の抜本改正⑨全国患者福祉会館の建設の九項目が、「難病患者などの医療と生活の保障を要望する請願」としてこの日国会に提出されました。

請願行動に先立って開かれた集會には、沼川洋一(公)、佐藤静雄(自)、田代由紀男(自)、藤本孝雄(自・秘書)、浦井洋(共)各議員らが激励にかけつけ、「患

40万署名を前に参加者を激励する長代表幹事
(2月17日、衆院第1議員会館で)



午後からは八班に分れて七十一人(その後増減があつて七十五人)の両院議員に署名簿をもって要請行動を行いました。相にく「売上税」で紛糾中の国会で、議員本人の在室はわずかでしたが、一部を除いて心よく院への紹介を受けてくれました。参加者は十五団体五十三人でした。

難病対策15年 ④

厚生省保健医療局結核難病感染症課

技官 江口 弘久

難病対策の
果した役割

(一) 特定疾患調査研究の成果

特定疾患調査研究の一般的な成果としては、

- ① 調査研究対象疾患の患者数、性別、好発年齢、地域の偏りなどの実態が明らかになった
- ② パラパラであった疾患の診断基準、検査手技、分類の統一が行われた
- ③ 各疾患の病態が詳細に検討された
- ④ 治療の実態とその効果及び限界が明らかにされ、一定の基準に基づいた治療法の開発がめざされた。その結果、対症療法に関して明らかかな進歩がみられた
- ⑤ 難病に対する一般医師の関心と知識が飛躍的に向上した

などの点をあげることができま

す。十数年にわたるわが国の難病対策は大変な成果を挙げており、教科書の記載の変更を迫るものもありませんし、治療対策にも著しい進歩がみられるようになりました。

さらに、この研究班活動をとおして、研究者の組織化がはかられ、研究者間の交流が深まったことも、今後の研究推進上意義深いことと考えられ外国には、このような目的を一つにした方式は見られず世界に誇っているものであると言われています。

(二) 経済的負担の解消

いわゆる難病は、その性質上医療に要する経費はかなり過重となつていきますので、その自己負担を何らかの形で解消することが必要であります。

2

難病の中には、四十七年度に難病対策がまとめられる以前から、未熟児養育医療、更生医療あるいは育成医療の中で医療費の自己負担分について公費負担される疾患もあり、また措置費として入所して療養する場合の経費を公費でまかなっていたものもありました。が、現行の制度では、およそ次の三つの方式によって医療費の負担軽減が行われています。

① 特定疾患と小児慢性特定疾患、特定疾患及び小児慢性特定疾患は、それぞれ特定疾患治療研究事業、小児慢性特定疾患治療研究事業として、医療保険の自己負担分を全額公費負担しています。

特定疾患治療研究事業は「原因不明、治療法未確立であり、かつ後遺症を残すおそれの少くない疾病」とした調査研究を進めている疾患のうち、診断技術が一応確立し、かつ難治度、重症度が高く患者数が比較的少ないため、公費負担の方法をとらないと原因の究明、治療方法の開発等に困難をきたすおそれのある疾病を対象としています。具体的にどの疾患をと

りあげるかについては、特定疾患対策懇談会の意見をきいて決定されます。

② 更生医療と育成医療

更生医療は「身体障害のある者に対し、適切な医療機関において必要な医療を給付し、障害を軽減、除去することにより、その自立更生を援助すること」を、また育成医療は「身体に障害のある児童に対する福祉の措置として医療を給付すること」を目的としています。が、内部障害にまで給付の対象を拡大したものであります。

③ 重症心身障害と進行性筋萎縮症

重症心身障害児(者)と進行性筋萎縮症児(者)については、国立療養所(重症心身については一部公立、私立)にそれぞれの専用の病床などを整備し、治療及び日常生活の指導を行っています。

今回で江口先生の連載を終らせていただきます。

ご愛読ありがとうございました。
(編集部)

「改正」老健法スタート

六十五歳以上のお年寄りの人口が全体の二割を突破し、急速な高齢化が進む中で、一月一日から老人保健法が次のように「改正」されました。

まず自己負担分ですが、外来で一月四百円↓八百円、入院で一日三百円二か月限度↓四百円限度なしに改定されました。

ただし低所得者（住民税非課税で、老齢福祉年金受給者）は「改正」前どおり二か月を限度として一日三百円となりますがその対象者は約八十万人了。

また特定疾病（人工透析、血友病）で治療を受ける者が継続して二十五日を超えて入院した場合に、その一部負担金が健康保険法等の高額療養費制度における自己負担限度額一万円を上回るの、同法にも特定疾病で治療を受ける者として市長村長の認定を受けた者には「老人保健特定疾病療養受療証」を発行し、同一の月における一部負担金の支払限度額を一万円

とする特別措置がとられました。

また各保険者間の老人加入率の格差による負担の不均衡を是正するとして、どの保険者も同じ割合で老人を抱えるようにすることにより、老人医療費の負担の「公平」を図ることになりました。

さらに今後急増すると予想される寝たきり老人等に対して、医療サービスと生活サービスを併せて提供する施設として、老人保健施設を創設するとともに、この施設を利用する老人医療受給対象者には、老人保健施設療養費を支給することとしています。しかし緊急を要する医療については、個別に評価し、それ以外は平均的費用の額を基礎として定める、となっており、この施設を導入するにあたっての最大のねらいとした医療費のいわゆる定額払い方式はなんら修正されていません。

安上りの、機能貧弱な収容施設をふやすだけになると考えられます。

医療・福祉のうごき

▽1日 「改正」老人保健法

が施行。入院時一部負担金は一日四百円。外来時一月八百円。

▽1日 厚生省が発表した六十一年の出生数は百三十七万八千人。出生率も最低となる。

▽7日 厚生省は福祉医療分野に新たな資格制度を導入する方針。人工透析士、言語療法士などが対象。

▽9日 斉藤厚相が六十一年版の厚生白書を報告。二十一世紀は未曽有の超高齢社会と定義。

▽12日 厚生省がまとめた六十年国民栄養調査によると、カロリーや脂肪、塩分のとり過ぎを控える傾向が定着。

1・2月

▽14日 厚生省は医療システム全般のあり方を見直した

め国民医療総合対策本部を設置。

▽21日 身障雇用審、身障者雇用促進法改正を答申、精薄者も対象へ。

▽21日 厚生省の調べで全国九千六百の病院のうち約六割が医師、看護婦不足。

2月

▽1日 厚生省がまとめた国保の六十年度決算では、三千二百七十市町村のうち赤字は、四百四十六で史上最悪。

▽2日 厚生省が発表した政管健保の「六十年度社会医療診療行為別調査」で投薬、注射の割合が医療費全体の三分の一を割る。

▽5日 厚生省が発表した六十一年度健康マップでは、肝臓病、肺がん、心臓病は西高東低。

▽9日 厚生省、「エイズ緊急対策要綱」の骨子をまとめた。患者、キャリアの実態把握、予防、治療法の研究を進めることなど。

▽13日 阪大は全国初の「脳死判定に関する委員会」の設置を決めた。

国保、赤字が最悪

農家や自営業者らが加入し、市町村が運営している国民健康保険の六十年度の決算状況のまとめによると、四十四年の調査開始以来、最悪の赤字になりました。

厚生省はその原因として、国保から老人医療費への拠出金が増えたことなどを挙げていますが、老健法の「改正」によって今後は拠出金負担が減るが、その分、国庫からの補助も削られるので、財政は引き続き厳しくなりそうです。

最近の活動から

難病連結成より満七年、いろいろの試練を乗り越えてどうにか足が地に着いたと感じられるこのごろです。

今年度は、医療相談会を契機にパーキンソン病友の会が発足し、難病連に加盟してくれましたし、今まで会長の長期入院で停滞していたピュルガー病友の会が役員交替により新しく発足した格好にて、医療講演会や療養相談会を実施して、活発に行動を始めたことが嬉しいニュースとして皆様に発表できることとなりました。

その他、ヘモフィリア友の会、腎臓病患者連絡協議会、リウマチ友の会鹿児島支部、膠原病友の会鹿児島支部などが医療講演会と療養相談会を年数回ほど実施して、難病患者の発掘と一般大衆の啓蒙と啓発に努力しております。

また、親睦と相互理解を深めるのを目的に、医師、看護婦同伴で、青少年を中心とした養育キャンプを実施したり、リハビリテーションを兼ねて青年男女を中心とした

ソフトボール大会や運動会などで軽症患者の社会復帰に役立てるようなことも毎年実施しておりますが、回を重ねるごとにだんだんにぎやかに歩いて行くようです。

未加盟団体の勧誘

未加入団体の勧誘も心しなければなりません、いまだ必要を感じながら友の会を結成できずに困っておられる重症筋無力症、ペーチェット病、再生不良性貧血、多

難病患者の力を結集して

鹿児島県難病連

発性硬化症等の患者さん方のために、医療講演会や療養相談会を実施して適任者を得るならば、友の会結成にこぎつけて加盟団体をふやし、難病患者の力を結集して、行政に対する要望などをより一層

強力に推し進め、医療や福祉が前進するよう、来年度の努力目標としております。

資金不足と資金捻出

それにつけても、難病患者故に

か運動できるリーダーの不足と、資金不足がいつまでもつきまとう悩みであります。

現今の情勢では、中曽根内閣の行政改革の名のもとに、助成金の増額など陳情、請願も実を結ばず、また、廃品回収やチャリティバザーも労多くして実は少なく、チャット病人には不向きな増収策にて、さりとて寄付金など連続実施には困難な面があります。鹿児島県難病連では昨年より、ある業者

の協力でアイデア家庭用品の販売事業実施によりなんとか資金捻出ができるようになり、全国組織にも加盟し、中央集会にも参加できるようにになりました。

黄色いハンカチ運動

難病連では、例年十二月九日の障害者の日に黄色いハンカチ運動を実施しております。これは市民の皆様が難病を知っていただき、また、難病連の運動に理解と協力

をしていただくために、「すべての難病患者・児に身障手帳の交付を」、「難病の原因究明と治療法の早期確立を」、「難病の原因究明と治療法の確立に取組んでいる研究機関に、行政の強力な財政援助を」など患者・家族の願いを刷り込んだチラシを配布しているものであります。

今後この黄色いハンカチ運動をはじめ、積極的に運動を展開して行きたいと考えております。

事務局 千八九〇 鹿児島市下荒
田二一六一四

上野誠行方

☎〇九九二一五五―二九五二



応援してください。私たちの活動。

病気なんかに負けないぞ!



たやすく負けられない

全国心臓病の子供を守る会
幹事・心臓病者友の会会長 麻生 譲

心臓病とともに45年

この二月二十五日で、私は四十五歳になった。働き盛りの男である。人生の最もピークといっている年齢である。

確かにいま、私は毎日職場に通い、会社でもひとつの仕事を受けてもって、ある程度、自由に働いている。

しかしながら、そういういまの自分は、一見恵まれているように見えるが、実のところ地をはいずり回って、四十五年を生きてきたのである。

この世に先天性心臓病というものを背負って出現してから今日に至るまで、この障害と戦いの連続であった。

幼児の時は、四十年前ぐらいなので当然保育園にも幼稚園にも行かなかつた。

小学校では運動会にも遠足にも参加できなかった。中学でも社会科見学にも行けなかつたし、避難訓練では、いつも逃げおくれ。

そんな私を不憫に思った心の優しい教師が、義務教育最後だからということで、関西の修学旅行に連れていってくれた。しとしとと降る春雨の中での修学旅行日程の消化は、先天性心臓病を持つ私の身体にいいわけがない。

病名の宣告・手術・就職

それから数カ月後、私は昭和三十一年の十一月頃、東京女子医大の榊原任教授によって、初めて私の心臓病がファロー氏四徴症だということを知られ、ほっておくと十八歳ぐらいまで生きられないかもしれないと宣告された。

どこの病院、医者がよいかなどと言っている暇はない。当時二五

パーセントの成功率でしかなかつた手術を受けるのははなかつた。そして昭和三十二年の二月七日に手術成功。十四歳の春であった。担当の先生は新井連太先生。いま、東京慈恵医科大学の心臓外科部長をなさっておられる。

そして中学三年生をもう一度やり直し、元気になって都立高校・浪人・国立大学と、一応受験地獄も経験してきた。

就職は、比較的自分がのぞんでいた職種の出版界に入りこむことが叶えられた。

全存在をかけた闘い

人生順風満帆かのように思われた。それからの私は、脳脊髄膜炎、吐血、脳膿瘍、腸間膜塞栓、二度目の心臓手術、脳梗塞などと、あと、数日或いは数時間処置がなければ、生命にかかわる危険性を持つ病に襲われてきた。

私にとって、病気と闘うことは私の全存在をかけた私の生命と闘うことであつた。

舌の十分回らない言葉で、仕事の電話をとるのも私の闘いであ

り、麻痺した右手でこの原稿を書くのも私としての生の証しである。こうして、これまでの病いを克服してきたし、これからもそうしなければなるまい。

心臓病の子供を守る会のみならず学生時代の友人、職場の仲間のはげましがあればこそ、障害を持った四十五年の人生も誕生日を迎えることができたのである。

“生きていくぞ”

私は、私以上に病気で、特に内部障害を持って苦しんでいる人を見ている。そういう人のために少しでも役に立つことをしたいと願っているし、それが自分自身をも生き返らせ、生命を一日でも永らえるものと確信している。

内部障害者にとって「病気なんかには負けないぞ」ということは健康でいたいというよりも「生きていくぞ」というさげびに他ならぬ死ぬかと思う。病気に負けたらだからこそ、私は病気にはそんなになたやすく負けられない。

(東京多摩支部所属)

社会保障予算の増額大臣に要請

昭和六十二年度予算政府案は十二月三十日の閣議で決定されましたが、これに先立つ十二月二十六日、JPCは社会保障予算の拡充を求めて復活要請行動を行いました。

長代表幹事を先頭に在京団体を中心とした約五十人の代表らは、まず大臣室に齊藤十朗厚生大臣を訪ね、難病の公費負担の対象疾患の拡大、国立医療機関の統廃合の中止、国際障害者年の予算増額、老人医療の再改悪の中止などを訴え、社会保障予算の大幅増額を要望しました。これに対して齊藤厚相は、「厳しい状況



だが皆さんの要望は理解しているので頑張る」と答えました。(写真) 代表らはこの後、仲村保健医療局長、草刈結核難病感染症課長らを訪ね同趣旨の要望を行い、各団体の要望についても申し入れました。さらにその後、大蔵省主計局の担当主査や大臣室にも同様の申し入れを行いました。

資金造成活動の具体化を検討へ

第3回幹事会

JPCの第三回幹事会が一月十七日、十八日の二日間、東京の全社連会館で開かれました。厳しい寒さが続いていたこともあって体調を崩している役員が多く、出席者は八人と過半数をようやく超える状態でしたが、後半期の活動に向けて熱のこもった討論が行われました。

前回幹事会以降の活動や情報、各団体の活動などの報告を受けた後、先の「全国交流集会」の総括、次期交流集会の開催候補地、国会請願の準備、第二回総会日程、資金造成計画などを話し合いました。

全国交流集会については、運営上のトラブルもなく、講演、討議内容も好評で全体としては成功であった

ことを確認しつつ、分科会の運営、テーマの掘り下げ、資料の編集などにもうひと工夫が必要であるとの意見も出されました。

次回の全国交流集会は第一候補地を滋賀県、第二候補地として福島県を選び、十一月二十一日、二十二日に開催する予定で準備をすすめることになりました。

また第二回総会は、六月二十一日または十四日に東京で開催すること、「『税制改革』と難病患者」をテーマに講演を行うことを決めました。

資金造成計画については、現在のJPCの財政基盤がカンパに依存する弱いものであることから、独自の財政活動を強めることで事務局体制や事業活動も強化していくこととするもので、先の全国交流集会の席上でもその概要が発表されています。

幹事会の討議では、JPC、各地域難病連と業者が契約を結んで、地域の自治会、町内会、婦人会などを対象に家庭雑貨のあつせんを行う案が検討され、取り組み可能な地域からはじめていくことにしました。ほかに、協会の組織化、花火の販売も取り組んでいくことを決めました。これらについては近く加盟団体に案内が送られます。

県単事業

◆難病療育相談事業 難病連への委託事業として三百万円を補助、県内数力所で行う療育相談会および難病福祉相談会への指導、協力体制をとっている。

◆重度心身障害者・母子家庭助成事業 【対象】身障手帳一〜三級、療育手帳(A)所持者、母子、父子家庭の十八歳未満の者 【支給内容】医療

保険の自己負担相当額 (ただし、社会保険本人は所得制度あり)。高額療養費および付加給付金等を除く。

◆高齢身体障害者医療費助成事業 【対象】六十五歳以上の身障手帳(四〜六級)所持者(被用者

保険本人を除く) 【支給内容】医療保険各法による給付額を控除した自己負担相当額を給付。ただし老健法の医療給付の適用を受ける者は、同法による一部負担金に相当する額を給付。所得制限あり。

◆その他の対策 難病連の運営費助成(五十万円)、県心身障害者総合福祉センター(新設)への難病連、腎友会事務室提供、保健婦による難病患者訪問指導などがある。

秋田県

たより 投稿の稿投交差点

特別養護老人ホームからの訴え

スモモン 松尾 郁子

スモモンの患者の特別養護老人ホームからの訴えをご紹介します。

「……私の家庭も以前のようにではなく、子供が成長した家が狭くなったとか、私が一緒にいるとしたら家を買つか広い借家に移るかいずれにしても出費が……省きませんがそんなわけで家族の旅行を機会に六十年四月、短期保護預りでこの特別養護老人ホームに一週間入りました。十年振りに湯槽に入れて下さり嬉しくて涙も流れました。こんな所で暮らせ

無限の苦しみに

北海道 伊藤たてお

わずかなまはたきしかできず
じっと横たわったままの人よ
ほんの少し 体を動かすことも
小さな声を出すことのできない人よ
泣くことさえも
怒ることさえもできず
ただ
生きながらえさせられている人よ
食べることもできず

たらと思いい、役所の福祉課に申し込み、入所することになりました。

申し込みの時、正確に記入した収入は障害年金とスモモンの介護費用・健康管理手当てで、一年に二百万円ほどになり、負担金は毎月八万円を支払うことで一年がすぎました。

ところが六十二年七月からは十万円に……(省略)……負担金の最高が十万円ですが、これは暫定的にということでは上乗せというのがなく、という話も聞いています。息子の方にも所得に応じた負担で毎月二万円納めるように役所から請求が来たので私は気がねでありません。

実家の親戚とのつきあひも最低の

かゆさも

痛さも

顔を這う虫さえもおえず

シーツのシワさえ

耐え難い苦痛の人よ

もはや 自分で死を選ぶことさえ

できない人よ

ただ、死に至る苦痛のみを

無限に引きのばされている人よ

その人たちに

国は何をしていると言うのか

月へも行くという

ことはしなければならず、お寺さんの礼、薬代と小使い、それに病気がなったらここに居れないのでその準備もしたいのです。キノホルム剤を服用したばかりに介護費を頂くような不自由な身になって頂いた額が多いから最高の負担、ぜいたくするつもりはありませんが、負担金が毎年二万円ずつ上ったのでは……と怖い

です。私の心情を聞いて下さい」

透析の寝台の上で

奈良 森 正信

透析とは鯛が靴を加えてやって来て、ともすれば両方の毛のはえた肉

新しい生物さえもつくり出すという

科学の時代に

悲しみさえ

伝えられない人たちがいる

まるでただの物体のように放置され

苦しいことを苦しいとも言えず

ただひたすら生かされている人たちが

いる

それなのに国は

それは私たちの

国ではなかったのか

体が仲良くしかねない状況です。そんな時の用意に友人が残してくれた漫画週刊誌などは格好の鯛靴(退屈)しのぎになります。その漫画の下欄に次の様な雑学を発見しました。

酔はナイロン系の動きをにぶくする働きがあるから、新しいストッキングをはく前に酔を少量入れたぬるま湯につけてからはくと伝線しにく

い。
シュヴァイツァーがアフリカの食人種にヨーロッパで戦争が起き戦死者が多数出た話をする時、一老人は「白人は死人を食わないくせに何というムダをするのだ」と言ったという。この老人の言葉が何とも現実的で面白く、一人で笑ってしまいがら平和であればこそ、こうして透析が受けられるのであり、その為の軍備もやむを得ぬと考えながら、今少し福祉にもと欲ほって、患者の活動もゆるめてはならないと考えます。

投稿募集中!

編集部では、皆様の投稿をお待ちしています。どんな内容でも結構です。原稿用紙六百字程度にまとめて『JPCの仲間』編集部宛にご送付下さい。

日患協(JPC)加盟団体

北海道難病連
秋田難病団体連絡協議会
福島県難病団体連絡協議会
群馬県難病団体連絡協議会
長野県難病患者連絡協議会
岐阜県難病団体連絡協議会
静岡県難病団体連絡協議会
三重県難病団体連絡協議会
滋賀県難病連絡協議会
京都難病団体連絡協議会
大阪難病者団体連絡協議会
兵庫県難病団体連絡協議会
奈良県難病連絡協議会
岡山県難病団体連絡協議会
高知県難病団体連絡協議会

宮崎県難病団体連絡協議会
鹿児島県難病団体連絡協議会
クロロキン被害者の会
互療会
スモンの会全国連絡協議会
全国肝臓病患者会連絡協議会
全国膠原病友の会
全国交通労働災害対策協議会
全国腎臓病患者連絡協議会
全国心臓病の子供を守る会
全国多発性硬化症友の会
全国パーキンソン病友の会
全国ハンセン病患者協議会
低肺機能グループ
日本患者同盟

◆「全国交流集会'86資料集」の

在庫があります。

この資料集は▽北海道難病セン

ターおよび難病無料検診・相談会、

▽医療法改正の概要▽医療計画作

成指針▽アルマ・アタ宣言など、

医療制度再編成の動きや地域医療
の問題を考えるうえで大変参考にな
ります。

在庫は百部ほどあります。一部

五百円。ご希望の方は日患協事務

局(〇三一九五二一五三四〇)へ。

団体通信

▽岡山県難病連が日患協に加盟
岡山県腎臓病患者連絡協議会、県
在宅障害児親の会、ベーチェット病
友の会岡山県支部、スモン連絡協議
会岡山スモンの会、筋ジストロフィ
ー協会県支部、日本リウマチ友の会
岡山支部、パーキンソン病友の会岡
山県支部、さちの会など九団体が参
加している岡山県難病連が日患協に
加盟しました。これで日患協の加盟
団体は三十になりました。
事務局 千那岡山市関三〇六一六六
杉原仁方

〇八六二七九一四九六八
▽奈良で「ふれあいのクリスマス」
昨年十二月二十日奈良橿原文化会
館で開かれたチャリティコンサート
の実行委員会は、難病に苦しんで
いる人々と当日の収益を奈良県難
病連に寄附しました。
▽「肝臓病相談室」への相談
昨年十月二十五日からスタートし
た全肝協の「肝臓相談室」には開設
日を(火、水、土)約四十日ほど経過
した一月二十一日現在で約二五〇件
(一日平均六〜七件)の相談が寄せ
られています。相談の内容は療養(食
事も含む)障害年金、医療費につい
てなどに集中しています。

▽北海道難病連が札幌市へ陳情
昨年十二月二十三日札幌市との懇
談会が開かれ、市側より十四部局二
十六名、難病連より十四団体二十名
が出席、次のような成果がありまし

た。①市側と難病連の相互理解②難
病連への補助金、委託事業について
前向きに協議する③来年度より、重
度障害者の日常自助具(十一品目)
の支給決定④市立病院改革の際、要
望に答えたいなどでした。
▽宮崎県難病連が福祉、医療講演
会

一月十八日、宮崎県福祉総合セン
ターで福祉、医療講演会が開かれま
した。講師にNHK解説委員の行天
良雄氏を招き、「ドラマ『いのち』
を通して地域医療の流れをふり返
り、展望する」と題して講演が行わ
れ、会員、一般の人を含め約百五十
人が参加しました。

▽全腎協が国会請願行動
腎臓病の早期発見、早期治療、腎
移植の普及、患者の雇用・就労対策
など「腎疾患総合対策」の早期確立
を要望する請願が二月十日、各県か
ら代表百三十八人が参加して行われ
ました。署名数は五十八万。集会の
あと衆参両議員百九十八人に請願書
を提出しました。

▽群馬県難病連
朝日新聞福祉助成金でワープロを
購入しました。



▼寒いですね。暦の上
ではもう春だというのに
▼今号は原稿がなかなか
集まらずに編集に苦労し
ました。大上段に構えず
気軽に原稿を送ってネ。

目 次

○ 40万署名で国会に請願	33
○ 連載 難病対策15年	34
○ 「改正」老健法スタート	35
○ 医療・福祉のうごき	35
○ がんばれ患者会 こんな活動してます	36
○ 病気なんかに負けないぞ！	37
○ 日患協の活動	38
○ たよりの交差点	39
○ 団体通信	40